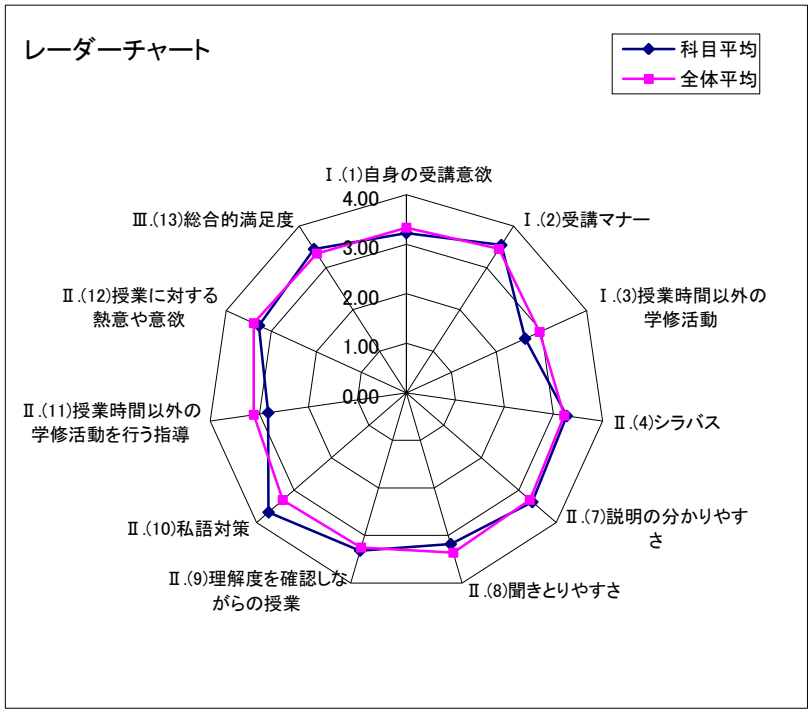
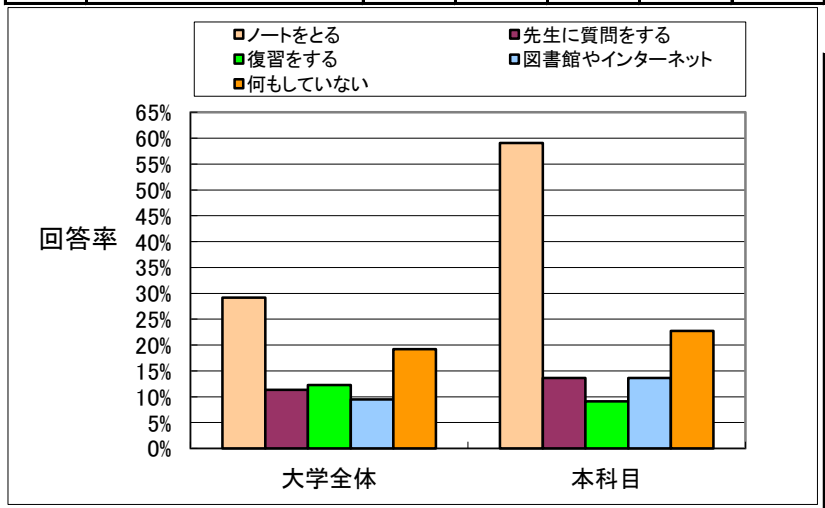
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.23	3.33
	Ⅰ.(2)	3.55	3.45
	Ⅰ.(3)	2.64	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.27	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.36	3.30
	Ⅱ.(8)	3.18	3.36
	Ⅱ.(9)	3.32	3.25
	Ⅱ.(10)	3.68	3.30
	Ⅱ.(11)	2.82	3.11
	Ⅱ.(12)	3.27	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.45	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	59.1%	13.6%	9.1%	13.6%	22.7%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.14	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.27	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.45	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	4135
科目名	政治原論Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

この講義は、学生のレベル、留学生の存在、受講者数を考えて、従来型の講義スタイルを変更し、毎回、教材プリント1枚について学習するようにした。その結果、授業計画の進行と、到達目標および難易度の適切さにおいて、問題はなかったと考えている。

②授業の進め方について

教材プリントを読み進めつつ、重要なポイントを中心に幅広く説明を加え(60分間)、最後に学習内容をレポートして提出してもらっている。そして、次の時間にその採点結果を通知し、期末試験は実施していない。このやり方により、大半の出席学生は熱心に取り組み、その成績は全般的に良好であった。特に留学生を中心に秀もかなり出た。従って、この授業に関しては、特に問題点があるとは思っていない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

新しいやり方でうまくいっているので、基本的にそれを継続していきたい。ただ、教材プリントのテーマについては、工夫の余地があるかもしれない。むろん、政治(学)が中心であるが、基礎的なものと時事的なものとのバランスについて更に考えてみたい。

奈良産業大学